



INDONESIA MISSION



発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 TEL：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」

HP：<https://indonesiamission.info/>



オンライン授業の様子
ブンカヤン寮の子どもたち

インドネシア・カリマンタン宣教のためにお祈りとお支援をありがとうございます。

インドネシアの新型コロナウイルス感染拡大は今なお深刻で、なかなか歯止がかかりません。7月末には1日に2000人を超える死者が確認されました。数字で見るだけではなかなか実感が湧きませんが、現地で身近な人が亡くなられたニュースを聞くと、ご家族の悲しみを思っ心痛みます。

私は最近「宣教」は結局のところ、神様の愛であり、そして私たちの愛なのだと思われています。そしてこの愛はまず相手に関心を持つことからスタートするのだと思います。上の写真はブンカヤン・ベラカ寮の“オンライン学習”の様子で、子供達は電波を探して窓の近くに座り、携帯電話に課題を受け取っています。日本のオンラインとはずいぶん様子がちがいます。もちろん現地に行くのが一番いいのですが、それができなくてもこのニュースを通して少しでもカリマンタンの人々を知っていただけたらと願っています。

インドネシアミッション代表 高橋 めぐみ



関西聖書学院(KBI)にて

スルートウンバン村・グロリア寮Ⅱ 卒業生の「今」

インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

スルートウンバン・グロリア寮Ⅱの舎監ヘルマヌスから、先日、寮の入口に電気のメーターが設置された写真が送られてきました。“電気メーター”、日本では「それが？」ですが、グロリア寮Ⅱでは、長い間切望してきた普通の電気が通った歴史的な日でした。2003年にグロリア寮Ⅱが設立されて以来18年、寮の働きはゆっくりですが確実に前進しています。



設置済の電気メーター

今回は、グロリア寮Ⅱ出身者の「今」、キーとガトツを紹介します。キーは今、自分の村「バダット・ラマ」で、同じくグロリア寮Ⅱ出身のフィリップと共に小学校の教師をしています。村に常駐する小学校の先生がいない状況を憂い、中学生の時から教師になるのが夢でした。エンティコンの教育大を卒業し、教師の資格を取って、そして任務地がバダット・ラマ村になるようにエンティコン区長に直談判し、やっと村



授業風景(立っているのがキー)

出身者で初めての故郷の教師になることができました。現在、苦闘しながら、村の子どもたちと一緒に成長し、前進しています。

ガトツも、自分の村、グンジュマツ村で働いています。このグンジュマツ村はスルートウンバン村から特に遠い村で、小学校も3年生までの分校しかありません。ガトツも小学校教師を目指してエンティコンの教育大学で学んでいました。しかし必要に迫られて村で子どもたちを教えねばならず、離れたエンティコンの大学での学びは、村との往復に体力と経済が続かず、結局退学してしまいました。今は、小学校で教え(教師不足が今なお現実なので)また村の長老として礼拝を導き、グロリア寮で養われた信仰に従い、御言葉を語っています(村の教会は聖職者不在のカトリック教会です)。



ガトツの説教風景

カリマンタン島西部地図



ブンカヤン・ベラカ寮の近況

舎監ギデオ

シャローム！“ベラカ寮”の働きは今も順調に進んでいます。これはインドネシア、そして私たちのために祈り支え続けてくださった皆さんと神様のおかげです。祈りと献金をもって、支え続けてくださっているお一人お一人に直接お伝えすることが出来ませんが、この場を借りて感謝をお伝えさせていただきます。

さてベラカ寮は、今年台所、そしてデッキと浄化槽を改装また、寮の塗装工事を始めることが出来ました。現在まだ工事中で、台所の建築作業は屋根を設置する段階です。浄化槽は部分的にですが完了しました。女子トイレは完成しましたが、男子トイレは台所へ続く通路が完成しないと取り掛かれられませんのでまだ工事を開始していません。学校の授業が再開された時に、台所が不自由なく使用できることが最優先でしたので、まず台所の工事に集中しました。この機会に皆さんへ祈りの支援をお願いしたいと思います。右に記しますので、どうぞ覚えてお祈りください。

私たちが、支援して下さる皆さんが続けて祝福され、神様が守り導いてくださるよう、また皆様が関わっておられるミニストリーがさらに成長し、神様の御名があがめられるように引き続き祈ります。この寮の管理を、私たちがすることを信頼して下さり感謝します。私たちは小さな者ですが、神様の愛と慈しみによって、今日まで守られてきたことを改めて思います。主に仕える喜び、イエス様の祝福が皆さんの上にありますように。



建設中の台所

お祈りください

1. 作業する職人のために
2. 安全が守られて全て順調に進むように
3. 天候が守られ作業が中断されないように
4. 必要な予算、材料が与えられるように
5. コロナが速やかに終息し、通常の活動になるように
6. 寮の子どもたちの訓練と成長のために
7. 寮のメンバーが新しく加わり将来的に増えていくように
8. 我々舎監に神様から知恵が与えられるように
9. 地域を越えて学校へ行くことを制限する新制度が、僻地の子どもたちの進学を妨げないように

エンティコン・グロリア寮Ⅰ 地滑りの状況

インドネシアミッション委員 東聖士

前回、公道から寮へ向かう通路半ばで地崩れが起こったとお伝えしました。専門家から水路増設と草の植栽で対応するアドバイスをいただいたので実践したいのですが、現在インドネシア全体がコロナ感染の拡大で揺れ動いています。エンティコンも例外なく感染者が確認され、生活にかなり制限が出ていて、思うように施工者を探すことが出来ていません。また、工事を監視する監督役も必要で現地で探しています。舎監デルフィのご主人が出来ればいいのですが、ご主人が所属している宣教団体の活動もあり、調整が必要になります。ご主人が監督するのが難しい場合、所属する宣教団体に人材がいらないかを探しています。現在乾季ですが、11月頃にはまた雨季になりますので、今のうちに対応したいと望んでいます。工事の費用も必要となってきます。必要な人材と経済が与えられるように覚えてお祈りください。Saratok

一方、寮の前の斜面は順調に植物が成長し、かなり強固になってきました。さらに果物の木も植樹し、こちらの斜面はそれほど心配することはない状態になり、感謝しています。学校はオンラインが続いており、ほとんどの寮生は自宅からスマホで授業を受けています。ですので寮には現在10名ほどしか寮生がいません。私が住んでいた時は寮生の出身村にWi-Fiなど全くなかったのですが、今は当たり前のようにあることに驚きを隠せません。

かたや雨が降らなければ、たちまち水不足の生活になってしまうアンバランスな環境にも改めて驚かされます。



通路横の崩れた斜面の状況



寮の前の育ってきた草木たち

ミッションハウス建築状況

●族伝道者タヨンナ



仕上げの塗装が必要な外壁

西カリマンタン東部で建築中のミッションハウスに関する報告です。ミッションハウスは●族がイエス様と出会い、救われ、さらに弟子となって、次はその人が●族に届いていくために訓練されるための家です。私たちはこのミッションハウスのために長く祈り続け、昨年2020年10月28日に建築工事を開始しました。もちろん、私たちに十分な経済があったからではありません。イエス様が西カリマンタンの●族に届いていく思いと重荷を、個人や家族、教会、宣教団体に与えられた故と受け止めています。(ハガイ書2章8-9節が土台です)

●族のためのミッションハウスの建築の思いと重荷を負ってくださる全ての人に心から感謝しています。皆さんとご家族の上に祝福がありますように。

どうぞ引き続きミッションハウスが完成するようお祈りを願います。工事は進んでいます。外壁のセメントと塗装、天井、窓、床、外構工事、生活用水のための井戸など、生活に必要な不可欠の工事がまだ必要です。家は未完成ですが、私たち家族は7月末にこの家に引っ越して住み始めました。床にタイルがないので、毎日埃に悩まされています。どうぞミッションハウスが速やかに完成し、さらに●族への宣教が進められていくように祈りに覚え、サポートして下さいますようお願いいたします。



タイル仕上げが必要な床

「ATI神学校のスタート」

一地方、また一民族がキリスト教化されるには、歴史的に二つの理由があります。一つは、王や領主がキリスト教徒になり影響を与えていくケース。もう一つは、政治社会状況により多くの人々が、キリスト教を受け入れるケースです。西カリマンタンは、この第二のケースです。1965年9月30日、インドネシア現代史上、最大の混乱が起きました。初代大統領スカルノの庇護のもと(ナサコム政策)増大した共産党が、対抗する陸軍の現役大将五人を殺害するクーデターを起こしました。(G-30-S事件、九月三十日事件)。これを制圧して反共軍事政権を立ち上げ、その後33年に渡って、反共独裁開発政治を敷いたスハルト大統領時代(新秩序時代-ニューオーダー)が訪れました。経済開発が進められる背後で徹底的な共産党狩り、虐殺がなされ、百万と言われる人が犠牲になりました。今日に至るまで、その詳細は不明なのです。このニューオーダー反共時代が、カリマンタンはじめ、未開未宗教の人々に宗教的な影響を与えたのです。建国五原則の第一条に「神を信じる」とうたうインドネシアです。未開未宗教の人々が、共産主義に影響されないための防御として公認の宗教を持つことが政府によって勧められたのです。この西カリマンタンは、その中でもさらに、特別な政治的社会状況がありました。

西カリマンタンは、海を越えてシンガポール、マレー半島に面していますので、古くから中国大陸からたくさんの人々が住み着きました。この中国系の人々には、中国(共産主義)寄り、親共産主義も少なくありませんでした。そこに、ジャワ島から追われた共産党員が逃れたのです。ニューオーダー政権の最後の共産党狩り場として、中国系の人、奥地の未開未宗教のダヤク人への政治的圧力が続きました。このような状況のもと、共産主義者でない証として宗教を求めたのです。しかし、彼らはマジョリテイのイスラムにはなりにくいのです。大切な財産で、食糧の豚を食べられない宗教だからです。他の公認宗教のヒンズー教(主にバリ島)、仏教、ジャワ密教は、身近ではありません。どうせ宗教を持つなら、キリスト教の方がいいという流れです。ですから、奥地シンタン町に住んで村々を訪問しますと、かつては部族抗争で首狩りを行い、外からの者には毒を盛って試す閉鎖社会だった人々が、私達を歓迎して受け入れ、福音に耳を傾け信じる様になったのです。村々が、キリスト教化した背景です。今日、西カリマンタン州、人口約200万人の半分以上がキリスト教となりました。私達は、東部ジャワにある本部のバツ神学校から、毎年、卒業生、一年間の実習生を沢山を送ってもらい対処しましたが、とても間にあいません。長い祈りの末、西カリマンタンに牧会の出来る牧師を養成出来る神学校を、バツ神学校の姉妹校として始める道が開かれました。

1982年、8年間奉仕した奥地のシンタンを後にし州都ポンテアナックに移り、土地探しを始めました。そのかたわら、不思議な主の導きでポンテアナックの大きな中国系の教会の牧師として奉仕することになったのです。そこで、多くの情報と有力な人脈を得ることができました。状況は整い、土地の候補地もできましたが問題は資金です。信仰団体(フェイス、ミッション)の方式を取るYPPHIIですので、公に必要をアピールすることもままならず、皆で祈り続けました。そこに、夏休みに一ヶ月間教育宣教師として来てくれた、岡山大学医学部の学生だった土居兄が帰国後、カリマンタンでの神学校の必要を教会で証しました。それを聞いたK姉が心動かされ、自分の老後の蓄え預金から400万円献金下さったのです。若い時に献身の思いが与えられていたのにな



設立初期のATI神学校

わず、看護師として働いてきた自分にできる恵みとしてお献げ下さいました。この献金でダヤク人の地域の入り口、アンジュンガンにATI神学校の最初の土地購入が出来たのです。1989年に帰国した私達に代わって、アンテオケ宣教会から故安東栄子宣教師が遣わされて、この生まれたてのATI神学校の初期形成期に奉仕されましたが、神学校の第一回卒業式の翌日、交通事故で召されました。悲しみと苦渋の中で、主の御旨を求めました。主は、この安東宣教師の殉死の証しを通して大田先生に召しを与え、ご一家でATI神学校で大切な発展期に用いて下さいました。教室、寮、図書館等が建てられ神学校らしく整えられました。続いて主は、高橋めぐみ先生を召し、お遣わし下さり、社会もYPPHIIの団体も大変な激動の時代に大きな支えとして用いて下さいました。そのお働きは、このインドネシア、ミッションで報告されてきている通りです。

ATI神学校は、今日に至るまでカリマンタンの隅々まで、卒業生を送り出しているだけではなく、リバイバルの流れの中にあるインドネシア中の教会/地域に、そして、宣教師として世界の国々に遣わされ、この日本にも五名の卒業生が、インドネシア福音教会(JEC傘下)で牧師として奉仕しています。

最後に、このATI神学校と日本の教会との関わりに、大きな主の摂理を感じざるを得ないことです。かつて、この西カリマンタンは、日本軍によって三千人余りの現地の人々が虐殺された地です。日本軍は赤道に沿っての土地の資源開発権利を得るなら、道路を建設してやると交渉したといわれる地です。そして、日本の宣教師の血が流された地です。安東宣教師の遺体が、軍の特別車で空港まで運ばれた翌日の地方紙に写真入りでこうありました。「日本人によって幾千のインドネシア人の血が流された地に、日本人の宣教師の血が流された。」私達は戦争の賠償やお詫びで宣教するものではありません。しかし、現地のメディアが報じる様に歴史の事実です。誰の血/犠牲の故かはともかく、主イエス様の貴い血潮のゆえに贖われ、唯一の贖罪のその恵みを伝えるのです。そのために今も多くの宣教師の涙と血が流がされているのが宣教です。この西カリマンタンとの関わりには、主の特別な御関心と摂理を感じるのには、歴史が語っています。その中に少しでも関わらせていただく恵みが、このインドネシア、ミッションを通して続けられますことは何と意味深いことでしょうか。(続く)



一番左が安海師、左から2番目が故安東師

安海師(中央)と学生だった前校長のバムジ師(安海師の右斜め後ろ)



安海師(中央)と学生だった前校長のバムジ師(安海師の右斜め後ろ)

— 祈りのリクエスト —

ATI神学校

- ◎6月10日に卒業式が行われて派遣された21名の卒業生と1年の伝道実習生が、派遣先で守られ、知恵と力が与えられ、豊かに祝福されるように
 - ◎コロナ禍での神学校の訓練と学びのために。スタッフに知恵が与えられるように
 - ◎ATIスタッフ、学生によるデボーション動画を毎日YouTube配信しています。動画が用いられるように
- ### 3つの学生寮共通
- ◎コロナ禍の状況で3つの寮の舎監達に知恵が与えられ、寮生たちの霊的指導のために。現在、電波が届かない村の子ども達のみ寮に滞在しています

エンティコン・グロリア寮Ⅰ

- ◎3月末に起こった公道から寮へ向かう通路(私道、約100m)半ばで地崩れに対する水路増設工事が進行していくように
- ◎舎監デルフィに与えられた第二子の健康のために

スルートゥンパワン・グロリア寮Ⅱ

- ◎寮の前の州道整備のために出ている移転問題が、適切な場所が与えられて解決するように
※山岳地帯で、なかなか適した土地が見つかりません
- ◎グロリア寮Ⅱの地域の村々の経済のために

ブンカヤン・ベラカ寮

- ◎補修工事(屋根、梁など経年劣化部分)のために
奨学生
 - ◎故郷のバダットラマ村に診療所を開設する夢をもって前進しているドノの健康と学びのために
 - ◎インドネシアミッションからサポートを受けてベラカ寮に入寮し、高校に進学するグロリア寮Ⅱ出身のナルピスのために
 - ◎アンジュンガンの宣教師館(ATI神学校敷地内)で高校に進学している、ヤコブス、アンドリカ、テシー、インドラ(グロリア寮Ⅱ出身者たち)の学びと霊性、将来のために
- ### プニティ・アナスタシス教会
- ◎華人中高生たちの家族が救われるように
 - ◎教会役員に助けと知恵が与えられ、教会の経済の祝福されるように

- ◎フレンキー牧師一家の守りと祝福のために

沿岸部族の働き

- ◎●族のミッションハウス建設の完成までの必要が満たされるように
- ◎親族の反対にあっている信仰告白したエズラさん一家の信仰が強められ、親族の祝福となるように
- ◎6月にコロナ感染したハリジョ氏の奥さんアユさんと、タヨナ氏の奥さんナナさんの完全な回復のために
※アユさんは甲状腺の腫れを発見(バセドウ病の疑い)、ナナさんは9月に第三子出産を予定

その他

- ◎西カリマンタンに続けて宣教師(長期、短期)が起こされるように



グロリア寮Ⅰ、Ⅱの名前のルーツ

名古屋グロリアスチャペル
岡本伸之師

グロリア寮Ⅰ(1998年設立)とグロリア寮Ⅱ(2003年設立)の名前の起源は、愛知県の名古屋グロリアスチャペルの教会のお名前からいただきました。そのいきさつを名古屋グロリアスチャペル牧師の岡本伸之先生にお聞きしました。

「1997年に宣教地視察ツアーで教会のメンバー7名で西カリマンタンを訪れました。日程は4-5日だったと思います。シンガポール経由で西カリマンタン州都ポンティアナックに飛ぶ予定でしたが、焼き畑の煙害で飛行機が飛ばず、急遽マレーシア領のクチンからバスを使って陸路でインドネシアに入る事になりました。当時電話で連絡を取るのが難しく、大変苦労しました。大田先生(前宣教師)がマレーシアとの国境エンティコンでずっと待っていてくださったのでなんとか落ち合う事ができました。

大田先生が示してくださった寮建設予定地は後ろが急斜面で、そこに細い材木が並べられていました。近くでは、たった一つのボールで何十人もの子どもたちがサッ



カーを楽しそうにしていました。川があり、村人たちはそこで体を洗い、歯磨きをし、用を足し、そしてその川の水でお茶を飲み、料理をしていました。ものすごいインパクトでした。

大田先生からカリマンタンでの寮の働きの大切さを聞きました。寮がなければ子どもたちはムスリムの家庭にホームステイする事になる、と。大田先生や現地の青年たちが一生懸命宣教している姿が印象的でした。私たちチームは現地のクリスチヤンの家庭に泊めてもらい、ユースの集会で証し、スキットをしました。現地の青年たちとの交わりがとても良かったです。

日本に戻って視察ツアーの報告をしました。そして教会皆でエンティコンの寮建築の為に祈って献げました。特に訪問したチームには特別な思いがあったと思います。その後、寮の名前がグロリアになったと聞きました。小さなきっかけではありますが、宣教の一端を担えて感謝です。」



「インドネシアミッション」会計報告

(2021年3月1日～2021年6月30日)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
一般献金	1,646,530	活動費・ATI神学生他援助	2,000,000
ATI神学生奨学金指定献金	193,000	ベラカ寮	20,000
プニティ・エンティコン指定献金	40,000	●族ミッションハウス建設援助	305,000
大学生奨学金指定	4,000	個人指定	90,500
個人指定	91,400	胡椒プロジェクト・未伝部族	53,000
その他指定献金	74,000	ニュースレター印刷代・発送費	79,300
●族ミッションハウス建設献金	305,000	事務・雑費等諸経費	436,805
収入合計	2,353,930	支出合計	2,984,605
2月末残高	3,373,093	繰越金	2,742,418

新しい家族が与えられました！



ケイリンちゃん

エンティコン・グロリア寮I
舎監デルフィ家



ジェイソンくん

ブンカヤン・ベラカ寮
舎監ジュマディ家

毎月の現地支援金額内訳(2021年3月～21年6月の月平均額)

支援先	金額(円)
エンティコン・グロリア寮 I	35,000
スルートウンバワン・グロリア寮 II	45,000
ブンカヤン・ベラカ寮	50,019
ATI神学校	35,385
中高校生支援	77,346
大学生支援	76,148
●族★族支援	56,346
プニティ・アナスタシス教会	8,782
アンテオケ館維持費	3,846
特別献金	76,346
(ミッションハウス費用、 グロリア寮 I 雨樋・台所工事)	
通信費・銀行手数料	1,675
合計	523,585

※クリスチャンパートナーズ、胡椒プロジェクトよりの奨学金、一教会または一個人から個人指定されている奨学金、支援金も含めてご報告しています。

【献金者芳名リスト】

教会・団体(順不同)

北大阪教会 守山キリスト福音教会 東京若枝教会 笹塚キリスト教会 浦和福音教会 東松山福音教会
東京グレイス福音教会 東京グレイスプレイズチャーチ 東京チャペル ゴスペルハウス静岡 チャペル犬山
岬福音教会 泉南福音教会 堺福音教会 南大阪福音教会 山の辺キリスト教会 狭山福音教会 曙チャペル
奈良福音教会 千代田福音教会 国分福音教会 西宮福音教会 さんだグレイスチャペル 箕面福音教会
川西福音教会 明石福音教会 上郡福音教会 小森野キリスト教会 上の原集会 大和カルバリーチャペル

個人(敬称略)

坂田 宏・紀志子 本田 寿久・洋子 前田 栄治 内村 郷美 小林 鷹夫
伊地知 美津子 千金 町子 繁田 基・幸 申月 霞 三方 美智子
王 麗媛 平野 孝明・あおい 高田 和恵 山本 光 山崎 利見
原 武士 土田 二三男 山口 勝子 平野 一枝 虫明 恵 玉井 美穂
松本 直展

編集後記

今年の5月に、群馬県渋川市にある三国クリスチャンチャペルに赴任しました。日差しの強さや朝晩の温度低下、地域の人柄など…群馬県渋川市は、同じ日本の大阪よりもインドネシアのエンティコンの方が似ていると感じることが多くあります。文化の近さは言語や国籍だけではないことを思われます。

インドネシアミッション委員 東 聖士